

諸達

明治九年一月ヨリ
公十一年一月マテ

諸達

明治九年一月ヨリ
公十一年一月マテ

40

諸達

明治九年申

五十年史料

140

5

庶務課

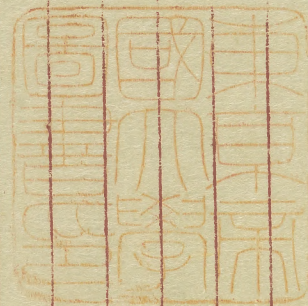
庶務課

明治九年一月ヨリ十年十二月マテ

諸達

第二百十六

東京大学医学部



B 95432

校長

庶務課

市川寛昭

差号

抄

東ニ七日開講ニ付午前第九時半小禮服着
用多校可致城島方違五事

明治九年一月四日

東京医学校

官負一般

姓名宛

東京大学

Blank red-lined area for writing on the right page.

自今日給之向之支給掛之具へ置て出給爲、
押印可被申付、又、其掛及申違取也
昭和九年三月廿三日

本校

庶務課

解割局

兼局

編輯掛

各所中



是近教官函負其外成草萬里軒に於て集會
致来り受来り四月ヨリ第二ノ土曜日毎
島昌平殿に於て集會致あり有る會に諸
君に左に姓名の記載を有る也

但之當日出席難お成り主前以其方松
者、由報知有る及人負文ヲ料理お前以
お命を有る及若くは面不冬ノトキハ不
己出銀の申入有る事

三月三十日

長興寺

教官

函負

監事局

解剖局

化学局

藥局



偏振掛

其外各

山中

赤星

佐々木

長興

大岡嚴磨

三宅秀

小林恒

三浦義純

草部諸四氏

山崎泰輔

櫻村清徳

飯塚忠教

菅浪博一

川上正光

飯盛快逸

橋良佐

大澤強二

柴田兼桂

田口和義

校長

監事局

用度課

生徒掛

庶務課

市川寛孝

案

生理學専門給費生

改大井上

白山琢磨

疾病に罹り成業の目途なきは自退學申付
有奉

明治九年四月

東京醫學校

東京大学

例月と集會所二土曜日より例規に於ては
月と集會所に教場休暇に於ては其中に於て
土曜日より未几六日昌平教場に於て集會致し
在余所及及水通に於て

明治九年一月二日

長興寺

三宅 秀政

佐々木 康隆

赤星 研造

櫻村 隆徳

小島 恒政

東京大学

三浦義純殿
 大畑嚴廣殿
 田口和義殿
 大津強二殿
 栗田兼桂殿
 草郷清四郎殿
 川上心光殿
 橘良全殿
 山崎泰彌殿
 菅浪煥一殿
 飯盛快送殿
 飯坂忠教殿

進子所不冬之向之長方五日前夜十一時
 進子所不冬之事

校長

庶務課

代理

案

昭和五日にینگスト祭日に有教場休暇を案
外にお遺り事

九年六月

東京高等学校

諸局宛

東京大学

東京大学

東京大学総合図書館

枚

庶務課

代理

左に通諸局に可達致す

お伺い

お送り

別紙寫し通東京博物館より通達有るに
観花より寄る當課より鑑札の送付に
時々の申出有るに及ぬ回達す

九年三月三十一日

庶務課

諸局宛

東京大学

唐詩選

伏

左之通諸葛禰、達之知我
如何哉

庚子六月二日與相地方
所巡幸東京所登輦二月休暇於東京所達
五事

九年五月三十日

東京高等學校

諸局課完

東京大学

昭十六日萬子内親王山邊葬之日諸省休沐
在勤之新明紙雜報之記載有之在之公卿之可
之於我至急及之同金在也
昭治九年六月十五日

東京醫學校

庶務課

奉省

附屬書記

山中

東京大学

校長

麻 裕 得

案

當收摺乙學生役五十五名東京外務省學校
轉學爲教員乙付本月三十日及七月一日兩日
回校、並圓其來學員爲右達五事

隆治九年六月二十三日

東京函學校

川上、飯塚、阪鹽

教員

監事局



校長

庶務課

案

支那方面の事情

諸君課

九月十日ヨリ九月十日ヨリ諸君負休暇賜り
各々各自申合無事支拂休暇可致候
お達事

明治九年七月四日

東京醫学校

校長

庶務課

第三百五十五号 案

自今洋文性海峽之事務一切監事局に於て東
板在案抄看為心以中達於事

明治九年九月

東京醫學校

諸課局宛

東京醫學校

唐詩課

榮

連月來二士囑以集會之儀都會者入當分奉
校內之館予施行致有衆城及內達其也
順治九年九月

唐初課

教實

函

道ノ臨時集會ヲ開キテ其ノ後ニ及リテ通

知事也

東京大学

校長

監事局
庶務課

本科第七級給費生

北山錦三郎

右に昨年来病氣に罹り全愈に因途なく
に有左に通達お第一の物哉

案

本科第七級給費生

北山錦三郎

疾病に罹り成業に目的なく、有退學し申有
長事

東京大学

明治九年十月四日

校長

庶務課

第四百五号 案

本月第二土曜日即十月十四日午後四時より
審教部於講義會致右來札及お達を奉

明治九年十月十二日

東京醫學校

教官 醫院 監事局 藥局

製藥局 解剖局 宛

東京大学

校長

庶務課

市川寛孝

光正百子 諸君に達し

来月十一月大試問休業中凡廿日頃中郷新
集所に秘稿可致其条各局課於予豫に注意
多量支様全繰可省之故有に達し事

明治九年十月十七日

池田 隆之助

東京大学

東京大学

校長

廣瀬 澤

市川 寛理

千四百九号 案

来ル廿日午後五時ヨリ上野精養軒ニ於テ
ドクトル、デーニツチ氏登壇致シ案冬席一有
之也

明治九年十月十七日

東京醫学校長代理

池田 藤吉

朱星研送版

櫻村清海版

東京大学

東京大学

田口和義殿
大澤隆二殿
柴田兼桂殿

事故有るを席難お成向に其方前日迄申
出可有る所也

貴邸月給残餘米筆墨料金七円四拾五
紙郵便為替券及び回附在条入多上諸
束証一の表を同封也

明治九年十月廿三日

東京醫学校
庶務課

老泉海藏殿

東京大学

校長

庶務課

下山惣吉

第五百三十四号

本月廿二土曜日即今月十一日午後四時ヨリ
吉番教場ニ於テ集會致スル事此ノ如ク達ス
事

明治九年十二月十日

東京醫學校

教官

醫院

監事局

解剖局

藥務局

藥局

東京大學

校長

庶務課

下山勉吉

乃書五於四号按

来ル廿日頃本郷新築所に後轉可致有通般
及回違置在受生徒大試問中ニ跨り而若否不
勘此二月来ル廿七日迄延日致在条場有受ニお
違在奉

九年十月十八日

東京醫學校

諸君課免

東京大学

校長

用夜課

庶務課

市川寛孝

新聞紙に廣告案

本郷元富士町番地當校新築粗成あり
二月廿七日より向一週より致梅物具除外
未診察兼入院共お休二月四日より從前より
可致施行場名廣告ス

明治九年十二月

東京醫學校

日々、新聞、報知、漢方、
四社、各五日間

校長

庶務課

第五百六十一号 案

本郷元富士町寺番地當校新築粗成致し
左之月来ル廿七日ヨリ向老園ヨリ以テ致極精
致致極精知込及内通致也
明治九年十月廿二日

東京醫學校

東京

開成學校
英漢學校

東京大學

東京大学

外国語學校

女學校

師範學校

女子師範學校

書齋

博物館

各小中

圖書部演習用庭園及び運動部有之

日文 衛生局 音楽

明治十二年一月五日 福地雅苗之次郎 有休暇不致
在事

明治九年十一月三十日

東京醫學校

東京大学

校長

監事局

庶務課

市川寛潔

衆議生中村信三氏藏田忠助氏左衆議生
お牛可加哉

衆

衆議一考給費生

中村信三氏

藏田忠助

學科昇進セザルニ依リ給費差止及事

明治九年十二月

東京大学

東京醫學校

校長

監事局

庶務課

下山惣吉

生徒高木計、左葉の達を半可猶存

葉

預科第二級給費生

高木計

學科昇進セラルニ依リ給費差止を事

九年十二月十六日

東京医學校

校長

監事局

庶務課

下山惣左

生徒後藤藤高君 左葉所達在在可相成

案

張科才二級自費生

後藤藤高君

卒業の目的を相立てて退學を申付在事

九年十二月廿二日

東京醫學校

東京大學

校長

庶務課

大正十一年一月

當校事務之儀、本月廿八日より、大正十一年一月

七日より休暇、お条、お段、お達、お事

但、お用多し、局課ハ、お限、お非、お

九年三月廿五日

東京醫學校

東京大学

東京大学

来儿十年一月二日外國教授宮内省、多賀
 五、有本日、以誘引、在成、成、成、及、所、達、在
 也

明治九年十二月廿六日

東京醫學校長

長 興 專 長

川上正光殿
 大井玄洞殿

校長

庶務課

明治十一年

教員諸君に達案

来月八日開講に先ず前夜九時三十分小禮服着用登校可なり此等お達至事

明治十一年一月五日

東京女子校

外國教授に達案

来月八日開講に先ず前夜九時三十分小禮服着用登校可なり此等お達至事

東京女子校

明治十年一月

東京醫學校校長代筆

池田 鑑三

校長

庶務課

市川寛孝

明治十年

事務官 達原

本月十五日ヨリ事務局中ニ出立満備置
在案毎日本前夜九時迄ニ各出達捺印可
致若シ夫迄ニ捺印多ク者モ俾テ達原ノ手
時迄ニ捺印多ク者ハ不参ト見做五案以旨
出達於事

明治十年 一月十三日

東京醫學校

各局課及姓名宛世及以迴達其為必
 具局印或之具番印押捺可省之故及
 以達其也

明治十年一月廿五日

庶務課

校長代理

菅後掛

庶務課

市川寛智

左ノ通監事局ハ内達ニ成可物哉

案

監事局

生徒中構内ノ花木採折有者有之成ニ在聞
以之外ニ後ニ有者等ノ所業無之様様ニ説
諭可致也方ハ達可事

昭和十一年三月

東京醫學校

東京大学

綜理代理

庶務課

市川寛孝

案

五月二日午前十時召集在案以各席
可有之務事

明治三十四年四月廿七日

長興寺

通學生受持教官宛

東京大学

東京大学

総理代理

監事局

庶務課

市川寛繁

門前、湯下寮

本月十四日より初週の日毎日午前八時ヨリ午後
一時迄生徒冬半期學課試験に自傍聴差
許る者生徒親族及び有志之輩ハ名刺ヲ以テ
可申出奉

明治十年五月

東京大学医学部

東京大学

サクコン、ヨウダイ、イカバ、クワシキ、ヘンジ、
マツ

西京勸業場

三宅秀宛

醫學部

長典

右十年九月廿二日電信ヲ以差出ス

東京大学

東京大学

保理代経

庶務課

市川寛孝

第三百九十四号 案

来ル土曜日午前八時出社午後六時
退社在社事務取扱

昭和十一年九月八日

東京大学医学部

諸局課掛宛

東京大学

綜理代理

庶務課

第三百九十八号 案

以上日より通學生教場お開き及び内都合より
此際係お成度地及内休類有也

明治十年九月十日

東京大学医学部総理代理

長 興 忠 之 助

是立寛殿

東京大学

山依頼之趣兼お仕り也

昭和十年九月十日

足立寛

東京大学医学部総代理

長興堂より殿

東京大学

経理代理

庶務課

市川寛規

左案内違可成致

才四万五千三百

自今下醫ノ稱取廢ニ當直醫ト可成補事

明治十年十月十一日

東京大学医学部

東京大学

経理代経

用度課

支給掛

庶務課

市川寛一郎

市川寛一郎 案

師教之向て通學生教授兼初手當金之若くは
教員心注トシテ及少通者有也

昭和十年十月二十日

事務局

東京大学

総理代理

用度課

支給掛

庶務課

市川寛理

第四百五十一号

雇教員之向通學生教授兼教員當之依自
今一時間格内之改正ノ在条以高書達也

明治十年十月十三日

東京大学醫學部

大井

飯盛

勝山

練水

一等製藥學生徒来ル十二月十日ヨリ試問有
糸林后生徒のお達有也

明治十年十二月五日

東京大学醫學部

監事局

総理

庶務課

市川寛孝

芳抄抄

教授助教に達案

是迄毎月芳抄三曜日文部省集會に候昌
平館に有るに及本月より本省に於て集
會に成るに及及中道に及也

明治三十二年一月十七日

東京大学文学部総理

池田謙高

